

出題 螢雪ゼミナール

長良北校・築樋拓真



国語を様々な側面からみて、日本語の面白さや深さを知ってもらえればと思います。

問題【国語】

次の和歌は徒然草に出てくる作品で、女の子が父親への思いを詠んだものです。「〇〇文字」とはそれぞれひらがな一文字を指しています。どんな文字を指しているか答えましょう。

ふたつ文字 牛の角文字 直ぐな文字 歪み文字とぞ 君は覚ゆる

豆知識 雑学コラム

短歌のなぞなぞ

今日は徒然草の中に出てくる短歌のなぞなぞを見ていきましょう。上の和歌を訳すと「二のような文字、牛の角のような文字、真っ直ぐな文字、歪んだ文字の四文字があなた（お父さん）への思いです。」という意味です。四文字の説明が、なんとなく、なぞなぞや暗号のようで面白い和歌ですね。今回はこの和歌の四文字を考えてみましょう。

まずは、「ふたつ文字」は「二」のような文字という意味ですね。「二」に似ているひらがなというと「こ」がこれに当たります。漢字の「二」、カタカナの「ニ」、ひらがなの「こ」、確かに似ていますよね。次の「牛の角文字」は「い」です。「い」の2本の線も、牛の角のように見えてきます。「こ」や「い」の見た目を「こ」の視点で説明しているところを

子供らしい感性が感じられて、ほほえましく思ってしまうですね。

さて、「直ぐな文字」と「歪み文字」ですが、これはそれぞれ「し」と「く」です。「し」は一本線の文字ですが、「真っ直ぐな文字」というより、下が曲がった文字ですよ。また「く」は曲がっていますが、ねじれて歪んでいるとまでは言えない気がしますよね。これは、当時の字体を考えてみると理由が分かります。（左の文字を参照）



上が「し」で、下が「く」です。こう見ると「し」は今の文字よりも真っ直ぐで、「く」は今の文字より小さくねじれて曲がっていますね。この「し」や「く」を見て、「直ぐな文字」と「歪み文字」と言っていたわけですね。

さて、できあがった四文字を合わせると「こいしく（恋しく）」になり、女の子はお父さんを「恋しく」思っていたということが分かりますね。和歌の中にはこうしたなぞなぞや暗号のような凝った工夫をした作品もあるのです。

【解答】

- 〇 = 二文字を歪
- 〇 = 牛の角の巾
- 〇 = 直ぐな文字
- 〇 = 歪み文字